

第1回例会 代表質問から



会派清新
関藤 龍也

滝川市の人口ビジョンについて

質問 外国人を積極的に受け入れる考えはないのか伺う。

答弁 滝川市まち・ひと・しごと創生総合戦略において、地域産業の育成・支援の観点から、外国人人材活用の推進と市内企業などの人材不足解消のため、地方創生特区の活用や外国人に対する日本語教育支援など、積極的な導入を指しています。

元気な産業と活力あるまちづくりについて

質問 新たな地域産業の活性化を図るため、情報収集をどのように行っているのか伺う。

答弁 副市長を中心に、積極的な情報収集と企業訪問活動を行うとともに、本市が持つ地域資源を活用できる企業への働きかけや食品

製造業などの企業誘致に努めています。

また、雇用が生まれる新規産業の誘致として、流通関連企業、農業関連企業の各1社から本市への進出の話をいただいています。

地域福祉・自立支援の充実について

質問 先進国における我が国の認知症対策は遅れているが、本市の取組について伺う。

答弁 どこで、どのような医療・介護サービスが受けられるのか、機関名やケアの内容を示すガイドブックである認知症ケアパスを作成・配布し、どのような支援が受けられるのか、早めに理解していただくことで、安心感につながるものと考えています。

質問 国が示した国家戦略の新オレンジプランを参考にされたのか伺う。

答弁 現在、認知症介護予防講座や認知症サポーター養成講座の実施、さらに、認知症初期集中支援チームの支援が始まっています。認知症の方や家族を支えるための啓発が重要であると考えており、

学校教育での啓もうや地域ぐるみで認知症の方を支えるまちづくりを目指し、新オレンジプランの内容も含め、徐々に進めているところ です。

安心して暮らせる保健・医療環境の充実について

質問 新年度に向けて、市立病院の運営方針と病院改革をどのように考えているのか伺う。

答弁 地域の基幹病院として、必要な医療機能を整備するとともに、経営の改善と医療サービスの向上を図るため、患者にもスタッフにも喜ばれるマグネットホスピタルをビジョンに財務、患者サービス、業務プロセス、学習と成長の4つの視点で戦略目標を定め、取り組んでいます。平成28年度の目標は、①安心・安全な医療サービスの提供、②地域医療連携の推進、③職場満足度の向上としていきます。さらに、新改革プランの基本的な考え方は、医療スタッフを適切に配置し、医療機能を備えた体制を整備することで、早い時期にプランを策定したいと考えています。

質問 医師・看護師の患者への接遇対応に対する市民評価をどのように受け止めているのか伺う。

答弁 院内7か所に意見箱を設置しており、毎年250件程度の意見が寄せられています。これらの意見を職員に周知しているほか、毎年新採用職員、医師も含め全職員に接遇研修を行っています。

学校教育について

質問 教育行政における責任体制の明確化と道徳教育に対する教育長の考えを伺う。

答弁 教育基本法では、子育てにおける家庭教育について、「国及び地方公共団体が、家庭教育の自主性を尊重しつつ、家庭教育を支援する施策を講ずるよう努める。」とし、道徳教育においても「家庭や地域の実態を踏まえ、学校における道徳教育の充実を重視する。」とされていることから、教育委員会としては、基本方針に記した知徳・体のバランスのとれた生きる力を育むため、市独自の道徳教育推進事業を進めるほか、いじめ未然防止やネットトラブル解消事業にも取り組んでいきます。